



Autumn / Winter 2024

「WOBBLER PART FOUR」

私は眩い時代の変化についていけないのだろう。
ついていくどころかよるめいてさえる。
未来へのビジョンは掠れていき、足元すらぼやけてしまう。
ただ、夜中のラジオから聴こえる古い音楽に魂は揺れ、
老いたバレリーナのように自由を満たしてくれる。
このよるめきはいつまで続くのだろうか――

三原康裕

意図的な加工、錯覚や模造などのアプローチ――。Maison MIHARA YASUHIRO のユーモアはシーズンを追うごとに拡張し続けている。混沌とした夜の世界によって今世を仄めかすコレクション。迷走する時代に到来する光を待ち望む。

SS24 に登場した「ビッグシルエット」シリーズをさらに肥大化。ケープのように脇下両サイドが開いたエレガントなブルゾンやコートをメンズ、ウィメンズともに多数展開する。三原が脳裏に浮かべたのは、兄から着古しを譲り受けていた体験とメランコリックな記憶。そして、子どもに大人の服を着せたときに生じる不完全さ。巨大な服が包括する得体の知れないよるめきに、「もうこれ以上大人が成長することはない」と皮肉めいたメタファーを込めた。

本コレクションでは三原にとってインスピレーション源のひとつである夜の世界が生彩を放つ。艶感のあるエナメル地のフェイクレザー、燦然と輝くテープ糸のウィメンズニットなど煌びやかな新素材も登場し、無秩序な夜のムードを昂らせる。

さらには、片山勇によるメイド・イン・ジャパンに拘ったレザーブランド「ISAMU KATAYAMA BACKLASH」とのシーズンコラボレーションが本コレクションに深みをもたらす。メンズ5型、ウィメンズ4型、それぞれ異なる2つの素材からなるリアルレザーアイテムをオールブラックで展開。

スニーカーは新型「KEITH」を発表。80年代に登場したバスケットボールシューズをベースに、ソールは誇張させたデザインに仕上げた。